

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

2019年4月～6月期

第93回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - (1)前期比 前期比(平成31年1月～3月比)
  - (2)前年同期比 前年同期比(平成30年4月～6月比)
  - (3)来期見通し 来期見通し(令和元年7月～9月見通し)
5. 業種別の景気動向
  - (1)製造業
  - (2)建設業
  - (3)卸売業
  - (4)小売業
  - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1)回答率

|         |       |
|---------|-------|
| 調査対象企業数 | 500社  |
| 回答企業数   | 152社  |
| 回答率     | 30.4% |

### (業種別)

|       |      |
|-------|------|
| 製造業   | 44社  |
| 建設業   | 30社  |
| 卸売業   | 13社  |
| 小売業   | 28社  |
| サービス業 | 37社  |
| 合計    | 152社 |

## (2)実施時期

2019年4月～6月期

## (3)調査内容

調査対象の第1四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4)調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5)調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

## 2. 調査結果(DI)

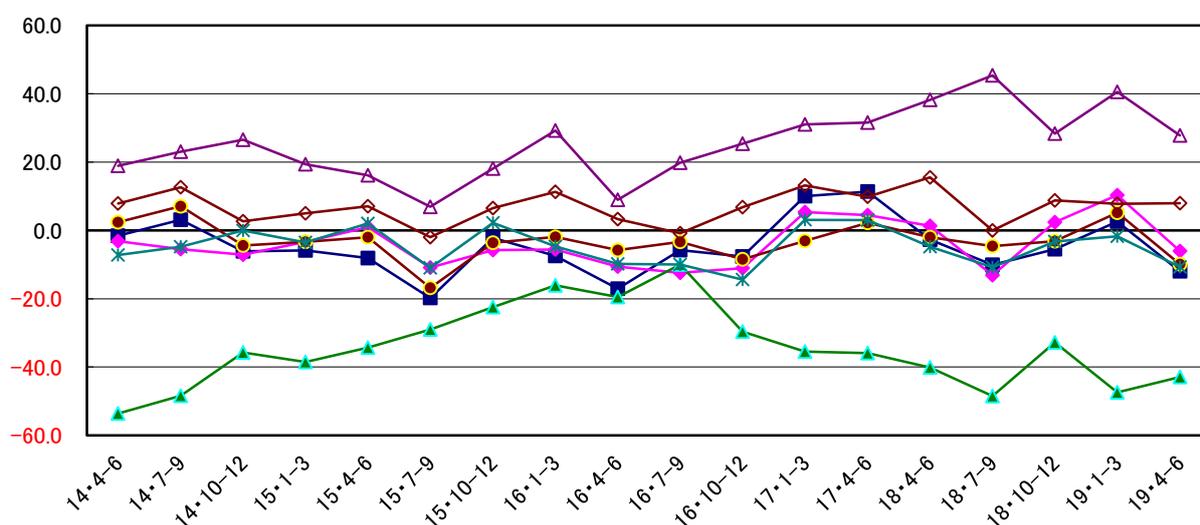
DIとは(景況判断指数)とは

DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

売上DI = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)  
 採算DI = (好転 " ) - (悪化 " )  
 資金繰りDI = (好転 " ) - (悪化 " )  
 仕入価格DI = (下落 " ) - (上昇 " )  
 雇用状況DI = (不足 " ) - (過剰 " )  
 設備投資DI = (拡大 " ) - (減少 " )  
 業況DI = (好転 " ) - (悪化 " )

前年同期比(全企業DIの4か年の推移)



|        | 14-4-6 | 14-7-9 | 14-10-12 | 15-1-3 | 15-4-6 | 15-7-9 | 15-10-12 | 16-1-3 | 16-4-6 | 16-7-9 | 16-10-12 | 17-1-3 | 17-4-6 | 18-4-6 | 18-7-9 | 18-10-12 | 19-1-3 | 19-4-6 |
|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|
| ■ 売上   | -1.6   | 3.2    | -6.1     | -5.9   | -8.1   | -19.8  | -2.2     | -7.5   | -17.1  | -5.8   | -7.6     | 10.0   | 11.4   | -2.7   | -10.1  | -5.5     | 2.6    | -11.9  |
| ◆ 採算   | -3.2   | -5.5   | -7.1     | -3.4   | 1.0    | -10.9  | -5.8     | -5.6   | -10.6  | -12.4  | -11.0    | 5.4    | 4.5    | 1.3    | -13.1  | 2.4      | 10.3   | -6.0   |
| ● 資金繰り | 2.4    | 7.1    | -4.4     | -3.4   | -2.0   | -16.8  | -3.6     | -1.9   | -5.7   | -3.3   | -8.5     | -3.1   | 2.3    | -2.0   | -4.6   | -3.2     | 5.2    | -9.9   |
| ▲ 仕入価格 | -53.6  | -48.4  | -35.7    | -38.5  | -34.3  | -29.0  | -22.5    | -16.0  | -19.5  | -10.0  | -29.7    | -35.4  | -35.9  | -40.1  | -48.4  | -32.8    | -47.4  | -43.0  |
| △ 雇用状況 | 18.9   | 23.0   | 26.6     | 19.3   | 16.2   | 6.9    | 18.1     | 29.3   | 8.9    | 19.8   | 25.4     | 31.0   | 31.6   | 38.3   | 45.4   | 28.4     | 40.5   | 27.8   |
| ◇ 設備投資 | 7.9    | 12.6   | 2.7      | 5.0    | 7.1    | -2.0   | 6.5      | 11.3   | 3.3    | -0.8   | 6.8      | 13.2   | 9.9    | 15.5   | 0.0    | 8.8      | 7.8    | 8.0    |
| * 業況   | -7.2   | -4.8   | 0.0      | -3.5   | 2.0    | -11.0  | 2.2      | -4.7   | -9.8   | -10.0  | -14.4    | 3.1    | 3.0    | -4.8   | -10.8  | -3.3     | -1.7   | -10.7  |

### 3. 概況

#### 人材不足に苦戦する中小企業

##### (1) 今期の特徴

今期の特徴は、前期比・前年同期比とも若干ではあるが悪化をみせた。項目で見ると仕入価格と雇用状況の数字が飛びぬけて悪い数値であった。

業種別の前期比では、卸売業の売上がプラス、建設業は売上がマイナスで、業況でも同様の傾向をみせた。

前年同期比では、全業種で売上・業況DIがマイナスとなった。

##### (2) 来期の見通し

来期の見通しは、前回調査と同様で、売上・採算・資金繰り・業況ともマイナス値を示している。仕入価格と雇用状況は依然として厳しい見通しとなっている。

業種別で見ると、製造業では設備投資、建設業では資金繰り、サービス業では業況、卸売業では、売上、採算、業況でプラスを示す結果となった。

##### (3) 経営上の問題点

1位「従業員の不足」、2位「需要の停滞」、3位「熟練技術者(従業員)の不足」となった。1年前の調査と比べると2位に上がっていた「原材料(仕入単価)価格の上昇」が4位となっており、「熟練技術者(従業員)の不足」が4位から3位と上がった。業種別に見ても、建設業で「熟練技術者(従業員)の不足」が1位となった。

##### (4) 今後の対応策

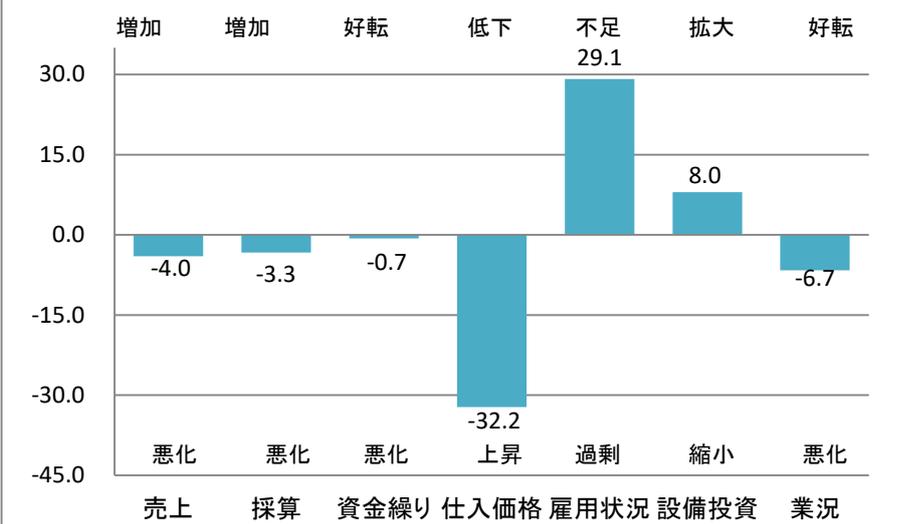
1位「新規事業を開拓したい」、2位「その他の合理化を実施したい」、3位「生産性を向上させたい」となった。

1年前の調査を比較すると、「その他の合理化を実施したい」が3位から2位に上がった。

業種別にみると、1年前は「従業員を新規雇用したい」という項目が上位にあったが、今期は「その他の合理化を実施したい」という項目が、各業種でも上位に見られる結果となっている。

## 4. 県内の景気動向(全業種)

### 前期比(平成31年1月～3月比)

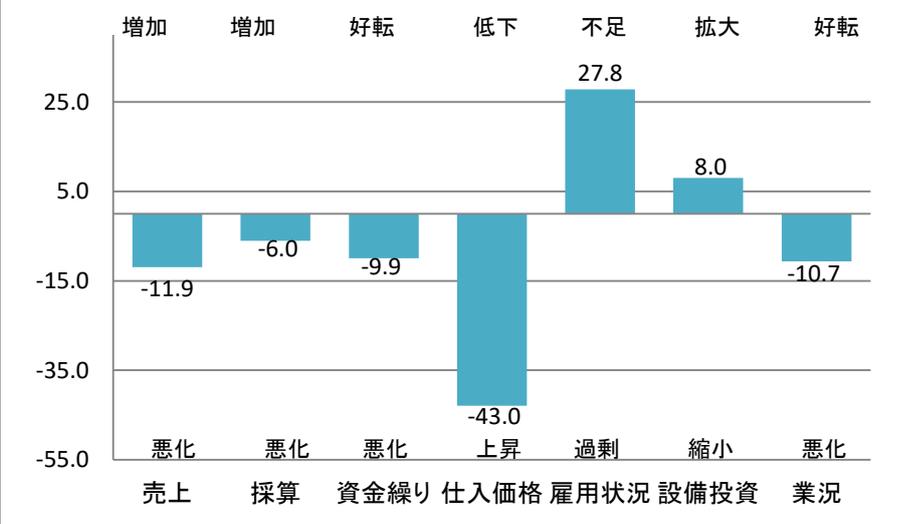


前期比をみると、売上DIが7.8→0.7へ、業況DIが8.7→▲2.6へと悪化をみせた。

業種別では、卸売業が好転しているものの、製造業・建設業・小売業・サービス業が悪化している。

特に小売業がプラスからマイナスに転じるなど、悪化が目立った。

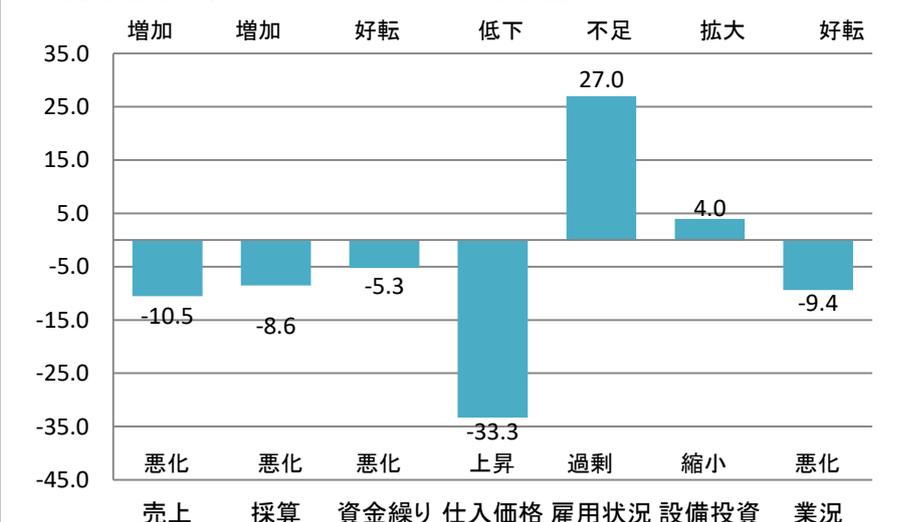
### 前年同期比(平成30年4月～6月比)



前年同期比をみると、前回調査でDIがプラスであった売上・採算・資金繰りがマイナスに転じ、業況DIのマイナス幅も大きくなっている。

業種でみると、製造業・小売業・サービス業の悪化が目立った。

### 来期見通し(令和元年7月～9月見通し)



来年の見通しは、DI値はマイナスのままであるが、数値は前回調査とほぼ同等であった。

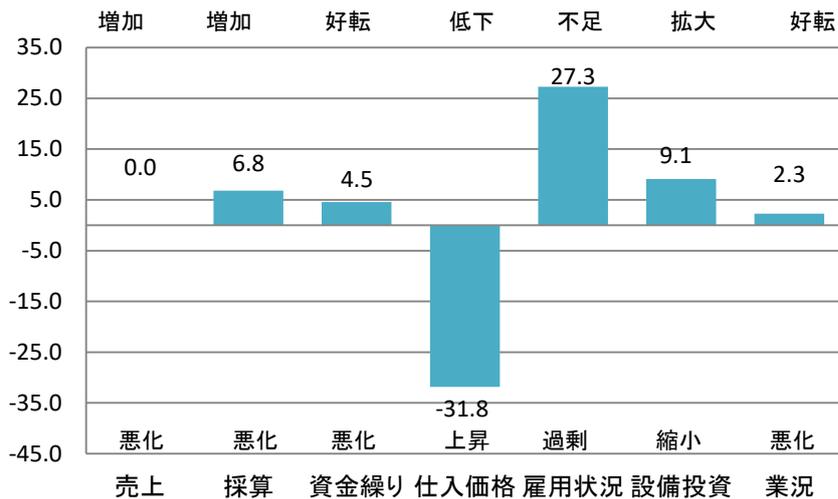
業種でみると、建設業・卸売業・サービス業が前回調査より好転、製造業・小売業が悪化をみせた。

特に卸売業・サービス業の好転見込み、小売業の悪化見込みの幅が大きかった。

## 5. 業種別の景気動向

### (1) 製造業

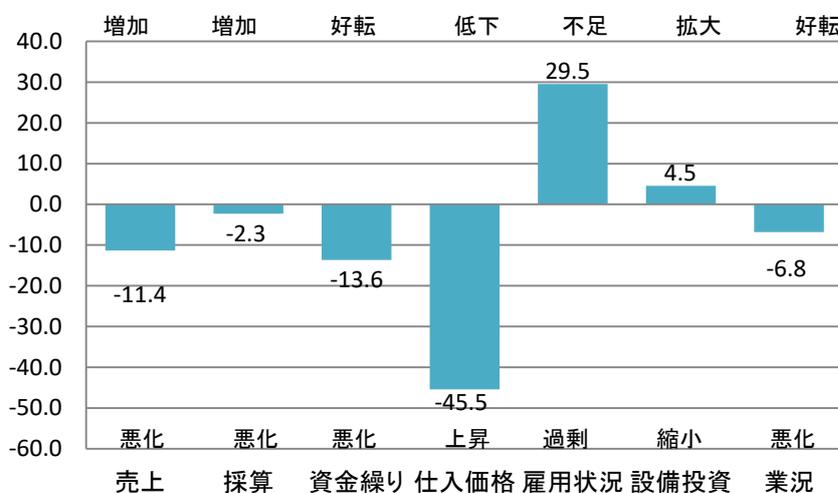
前期比(平成31年1月～3月比)



前期比では、前回調査時(前回▲-29.0)と同様に仕入価格DIのマイナスが大きい。また雇用状況DIにおいても前回調査(+25.8)よりもわずかに回復したものの、依然として人材不足の状況にある。

回答のあった企業コメントをみると、米中貿易問題が売上に起因し、悪化をもたらしている。世界情勢の動きにより、受注減少の動きがある。一方、このような影響を受けない企業も大多数ではないものの存在する。

前年同期比(平成30年4月～6月比)

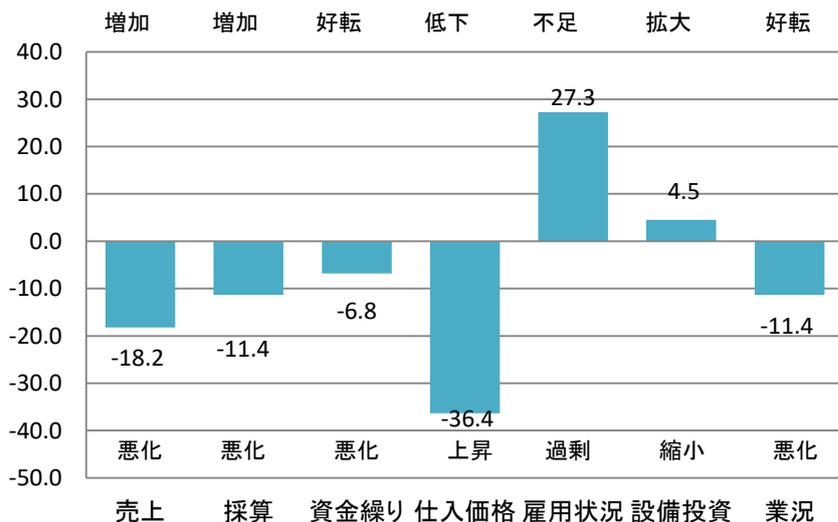


前年同期比をみると、すべての項目においてマイナス値を示し、雇用状況は依然として人材不足の状況が続く。

前回調査の仕入価格DI(▲54.8)と比較するとマイナス幅は減少したが、依然として仕入価格が高い状況にある。

回答した企業では、今年は5月に10連休など、休日が多いことによる影響を受ける企業が多い。また、ふるさと納税の規制の影響も一部出てきている様子である。

来期見通し(令和元年7月～9月見通し)



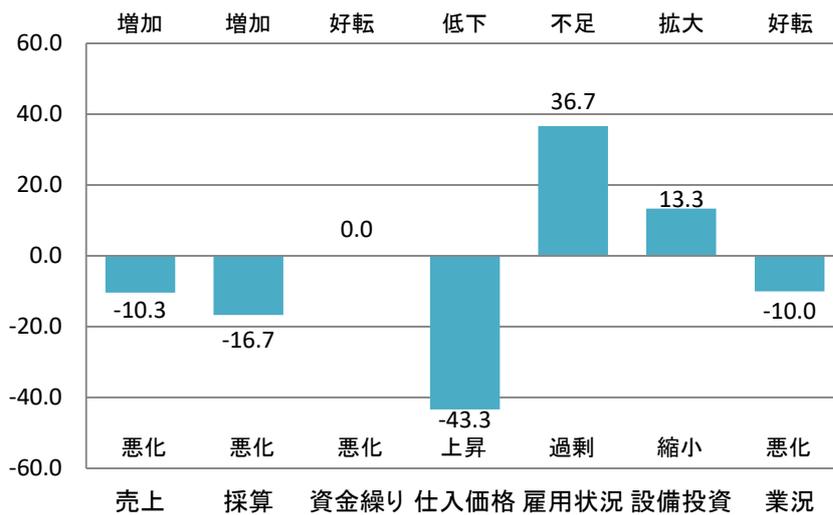
来期見通しにおいては、前回調査時では(0)であった売上DIが20ポイント近いマイナスを示す結果となった。また、設備投資DIに関しては、4.5のプラスとなった。

回答企業からは、来期にかけて閑散期に入る季節的な落ち込みを見越す声が多く挙げられた。また、10月より始まる消費税増税による買い控え等の影響を懸念する回答も見られた。

## 5. 業種別の景気動向

### (2) 建設業

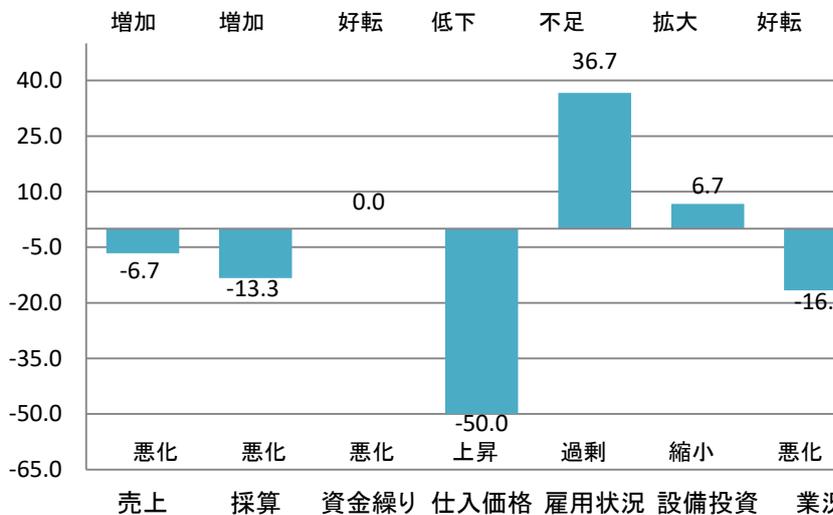
前期比(平成31年1月～3月比)



前期比では、仕入価格DIと雇用状況DIの数値が大きく示している。前回調査時も同様の傾向(仕入価格DI▲42.3、雇用状況DI+42.3)であり、業界として依然厳しい状況を表す形となった。

企業のコメントとしては、人手不足により受注できず売上減少と回答が多く挙げられた。売上に直結する人手の確保が課題であり、仕入価格の上昇により薄利経営を強いられている状況にある様子である。

前年同期比(平成30年4月～6月比)

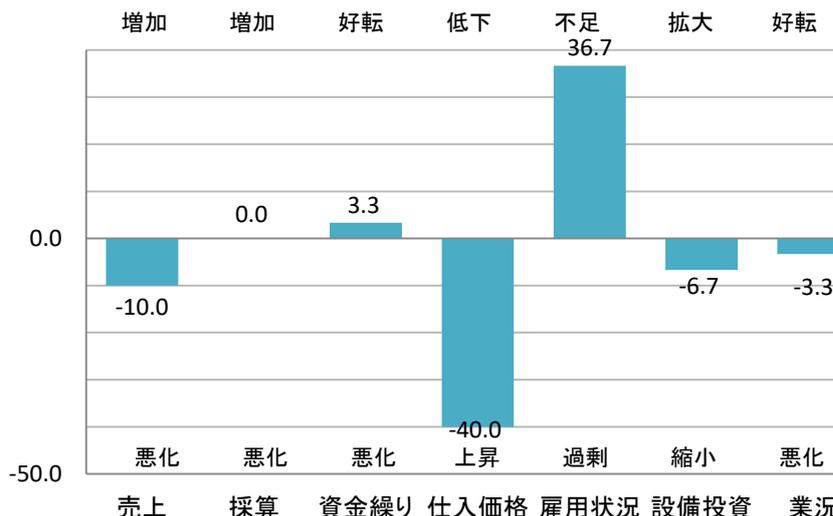


前年同期比をみると、前期比同様に仕入価格DIと雇用状況DIにおいて大幅な開きを示した。加えて、採算DIはマイナス幅が小さいものの前回調査時が(+7.7)であったものが、マイナスに転じる結果となった。

企業のコメントでは、来年開催のオリパラによる受注増加で、関連設備を請け負う事業所においては好転の兆しがある。

この他に、熟練工の技術継承を不安視する声があった。

来期見通し(令和元年7月～9月見通し)



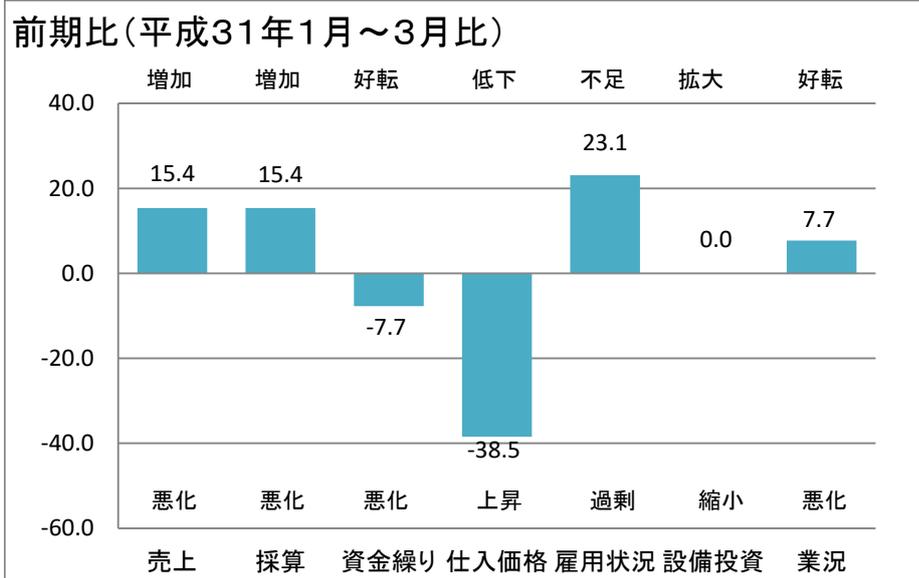
来期の見通しでは、前回調査と比較すると、売上DI(▲23.1)、採算DI(▲23.1)、資金繰りDI(▲26.9)において大幅に改善される結果となった。

企業のコメントとしては、今後公共工事の増加や増税前の小口の受注増加などを挙げる企業があり、一部企業では、好転の動きが今後予想される。

一方、消費税増税による影響で、景気の落ち込みを懸念する回答も見られた。

## 5. 業種別の景気動向

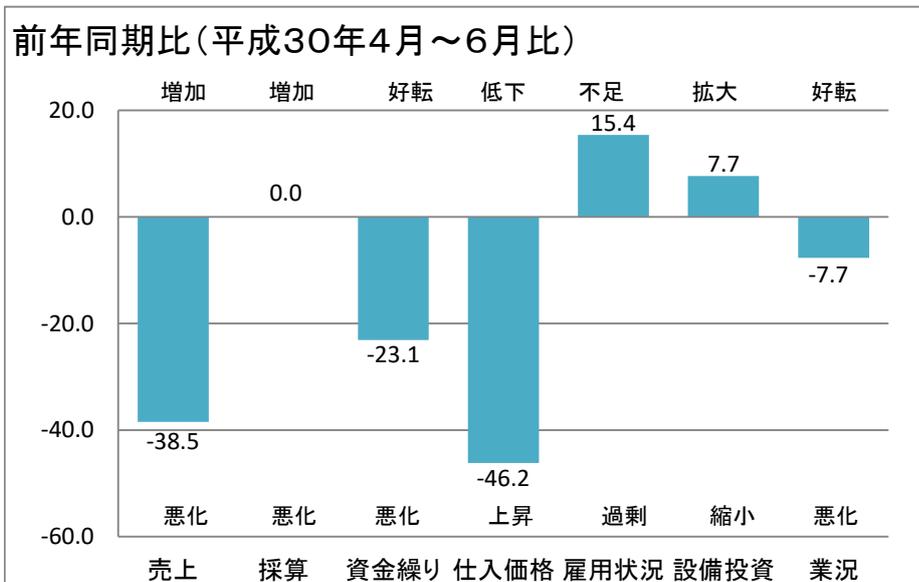
### (3) 卸売業



前期比を前回調査と比較すると仕入価格と資金繰りを除き好転した。仕入価格DIは前回(▲12.5)であったが、今回は3倍以上の数値を示す結果となった。売上DI、採算DIは前回マイナス値を示したが、プラス拡大を示す動きとなった。

企業としては、5月の10連休があったものの、消費動向が上がらなかったという回答があった。

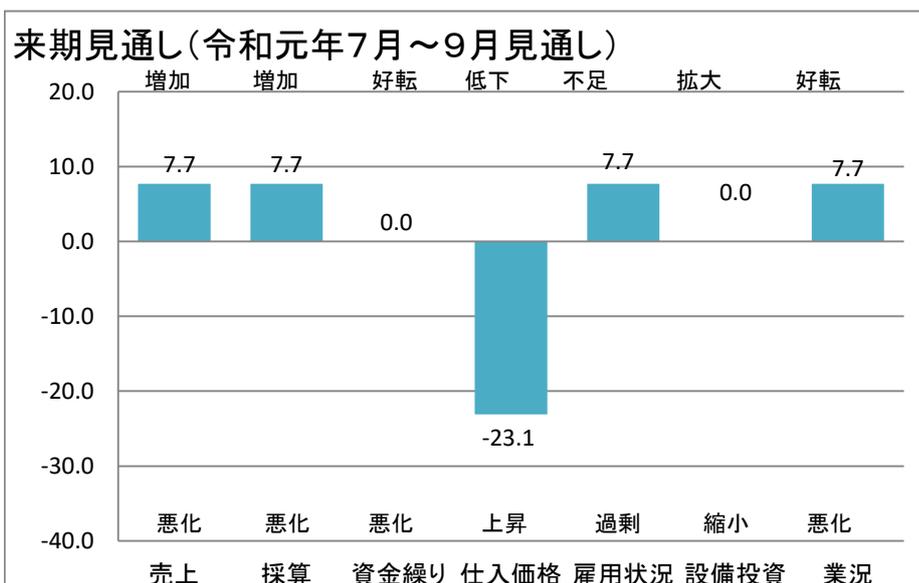
一方、季節的要因による好転を挙げる声があった。



前年同期比をみると、前期比と同様に仕入価格DIのマイナス拡大が際立つ状況にある。前回調査時に(0)を示した雇用状況DIにおいては、雇用の不足を大きく示す動きを示した。

企業のコメントの中で、酒卸では、ニュースの影響を受け、アルコールに対する制限が強くなっていると回答があった。

また、5月の10連休以降、個人消費が冷え込んだという回答もあった。



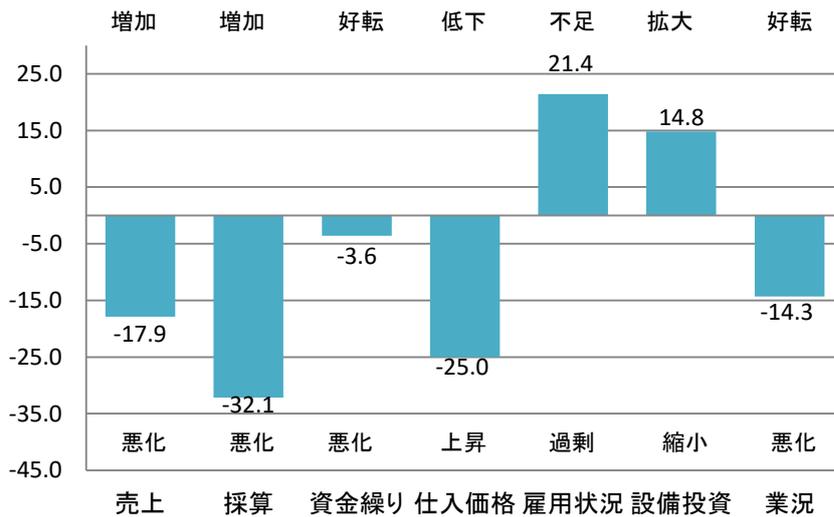
来期の見通しでは、売上DIおよび採算DIにおいて前回調査時でもにマイナスを示していたが、今回プラスに転じる結果となった。しかし、依然として仕入価格DIは大きなマイナスを示し、引き続き仕入価格の上昇が懸念される状況の様子である。

企業のコメントをみると、10月から始まる消費税増税により、消費低迷から来る景気の落ち込みを懸念する回答もあり、今後の動向が不安視されている様子である。

## 5. 業種別の景気動向

### (4) 小売業

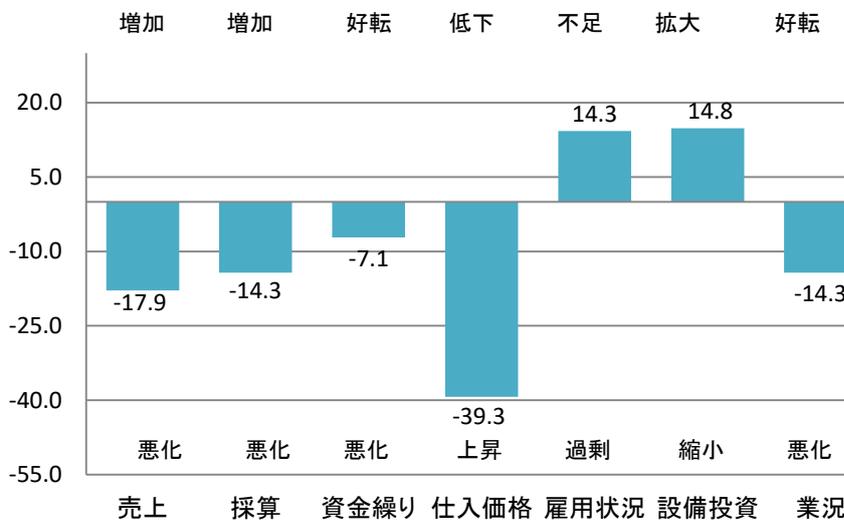
前期比(平成31年1月～3月比)



前期比のDIは、売上は▲4.5から7.1へとプラスに転じたものの、業況は14.3から3.6へと悪化している。雇用状況も引き続き大きなマイナスを示している。

年度初めの影響を受けて売上増の品目もあったが、「GWがダメでした」という声も聴かれた。

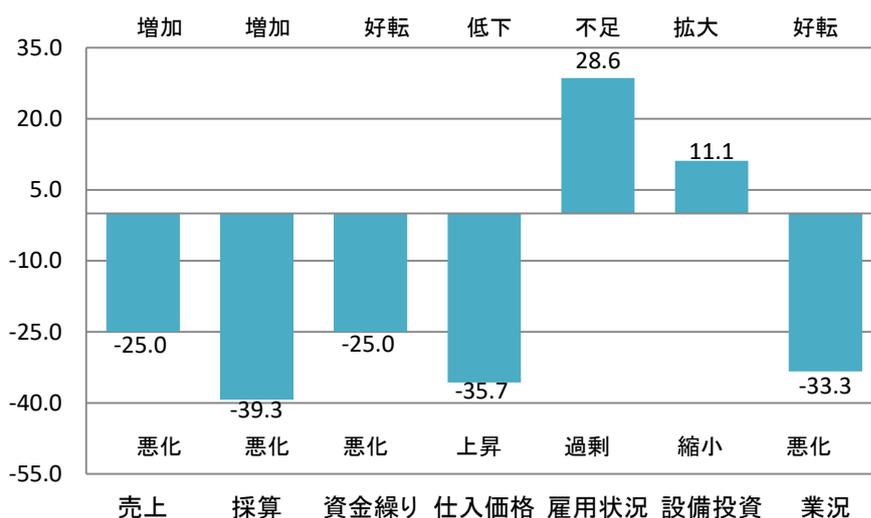
前年同期比(平成30年4月～6月比)



前年同期比では、売上DIが▲9.1から▲3.6、業況DIが▲13.6から7.1へと改善をみせているが、仕入価格・雇用状況とも大きなマイナスとなっている。

「順調に伸びている」という総合百貨店があるものの、「イベントがコンパクト化して単価が減っている」と取扱う品目で業況が異なっていると思われる。

来期見通し(令和元年7月～9月見通し)



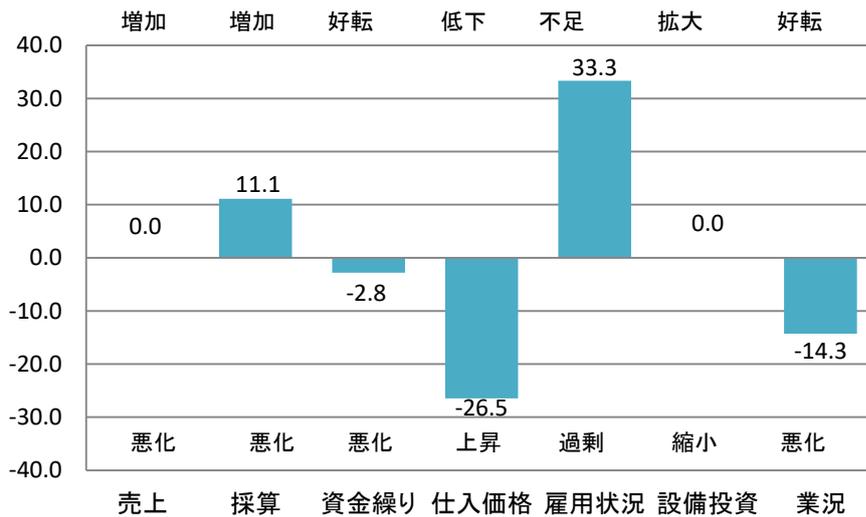
来期見通しは、売上DIが▲9.1から▲14.3、業況DI13.6から▲14.8へと悪化を予想している。

10月からの消費税引き上げ前の需要を期待するも、「先が見えない」、「天候次第」、「暑さ次第」と先行き不安を感じているものと思われる。

## 5. 業種別の景気動向

### (5) サービス業

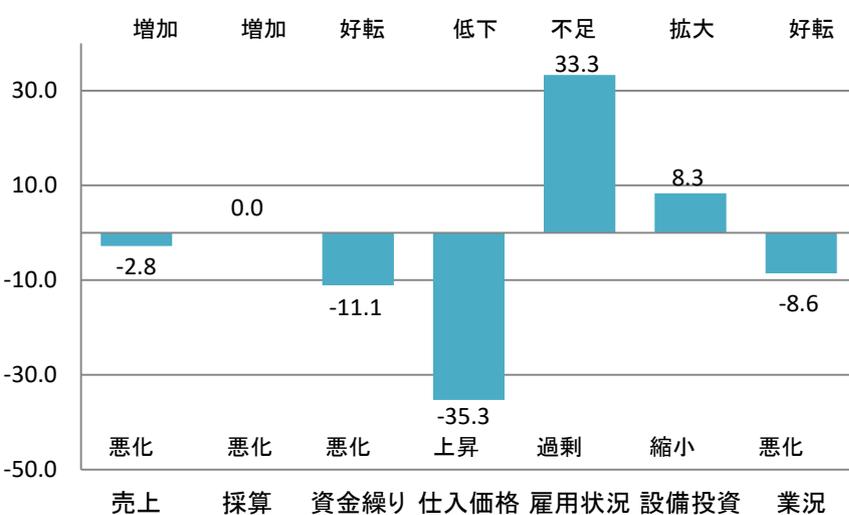
前期比(平成31年1月～3月比)



前期比のDIをみると、前回調査と比べ、今回調査では悪化に転じている。

「例年と同じ」「前期と変わらず」とのコメントもあるが、「従業員減」と「お客の減少」のダブルパンチを受けるタクシー業界の声も聴かれた。

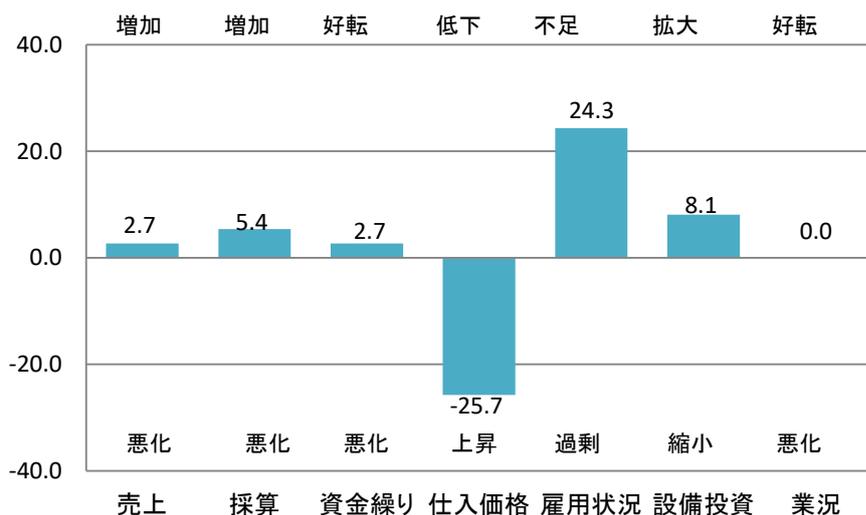
前年同期比(平成30年4月～6月比)



前年同期比では、前回調査に比べ多くの項目において悪化しており、売上で17.2→▲10.5へ、業況は6.9→▲13.5へとマイナスに転じてしまった。

催事のコンパクト化や大手との競合による売上単価減少などのコメントが寄せられた。

来期見通し(令和元年7月～9月見通し)

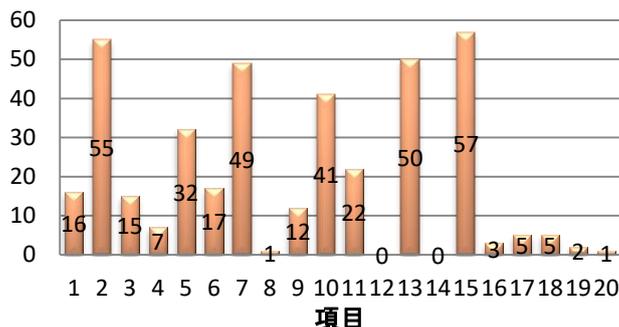


来期見通しのDIは、売上が▲17.2→▲2.6へ、業況が▲10.3→2.7へと若干ではあるが改善傾向がみられる。

消費税引き上げ前の需要を期待しているコメントもあるが、「先が見えない」と不透明感を懸念している声も多い。

## 6. 経営上の問題点

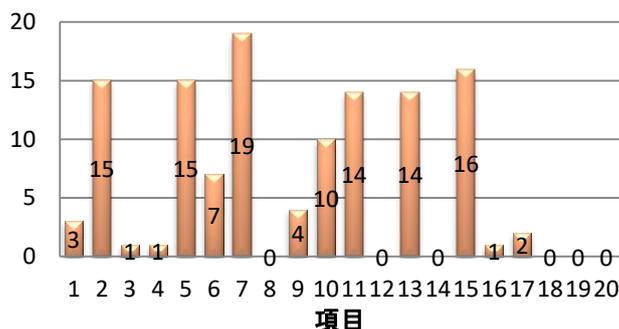
### 全業種



#### 順位

- 1位 従業員の不足
- 2位 需要の停滞
- 3位 熟練技術者(従業者)の不足
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 人件費の増加

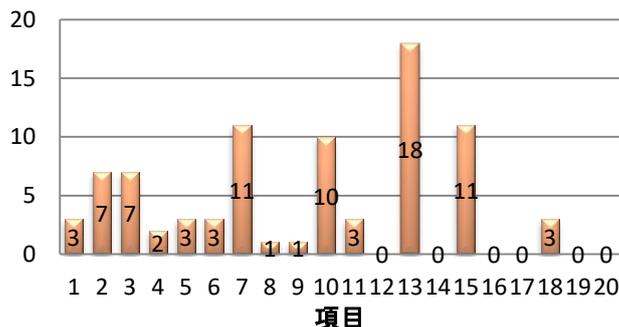
### 製造業



#### 順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 従業員の不足
- 3位 需要の停滞
- 3位 生産設備の不足・老朽化
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

### 建設業



#### 順位

- 1位 熟練技術者(従業者)の不足
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 従業員の不足
- 4位 人件費の増加
- 5位 需要の停滞
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

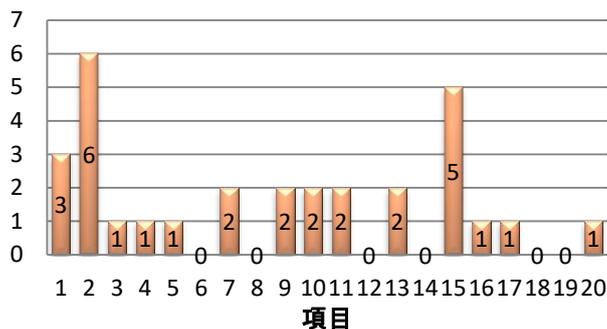
#### 項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
5. 生産設備の不足
7. 原材料(仕入単価)価格の上昇
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
11. 製品(販売)単価の低下・上昇難
13. 熟練技術者(従業者)の不足
15. 従業員の不足
17. 商品在庫の過剰
19. 円高による海外製品との競争激化

2. 需要の停滞
4. 新規参入業者の増加
6. 製品ニーズの変化
8. 生産設備の過剰
10. 人件費の増加
12. 原材料の不足
14. 金利負担の増加
16. 事業資金の借入難
18. 取引条件の悪化
20. 代金回収の悪化

## 6. 経営上の問題点

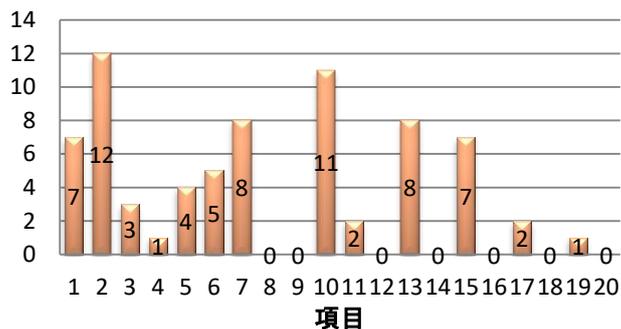
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 従業員の不足
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 4位 人件費の増加
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足

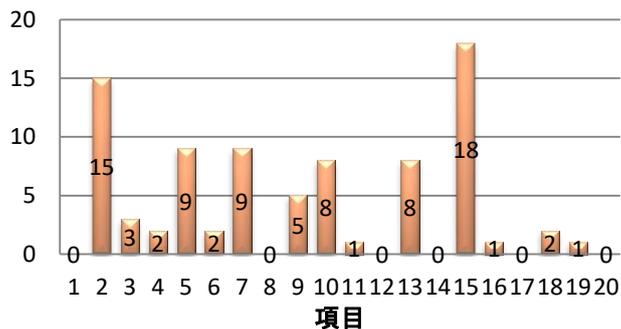
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 人件費の増加
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 従業員の不足

### サービス業



#### 順位

- 1位 従業員の不足
- 2位 需要の停滞
- 3位 生産設備の不足・老朽化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 人件費の増加
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

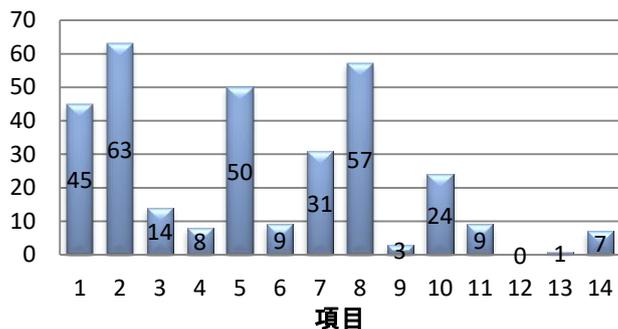
#### 項目一覧

- 1. 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5. 生産設備の不足
- 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 9. 原材料・人件費以外の経費の増加
- 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 13. 熟練技術者(従業者)の不足
- 15. 従業員の不足
- 17. 商品在庫の過剰
- 19. 為替相場による海外製品との競争激化

- 2. 需要の停滞
- 4. 新規参入業者の増加
- 6. 製品ニーズの変化
- 8. 生産設備の過剰
- 10. 人件費の増加
- 12. 原材料の不足
- 14. 金利負担の増加
- 16. 事業資金の借入難
- 18. 取引条件の悪化
- 20. 代金回収の悪化

## 7. 今後の対応策

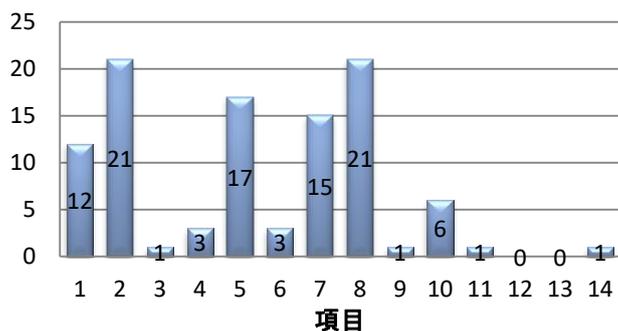
### 全業種



#### 順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 従業員を新規雇用したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

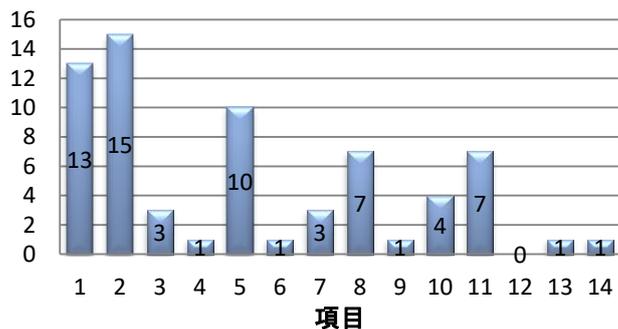
### 製造業



#### 順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 従業員を新規雇用したい

### 建設業



#### 順位

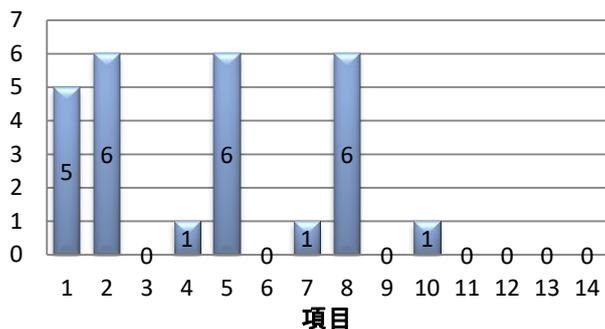
- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 従業員を新規雇用したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 新規市場を開拓したい
- 4位 下請発注を減らしたい

#### 項目一覧

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) |                     |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 8.新規市場を開拓したい                | 9.業種転換を行いたい         |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             | 13.海外から原料・部品を調達したい  |

## 7. 今後の対応策

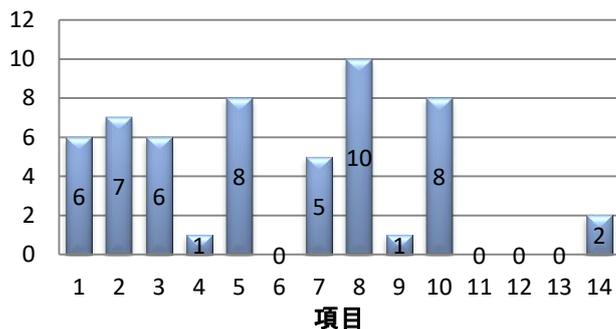
### 卸売業



#### 順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 1位 その他の合理化を実施したい
- 1位 新規市場を開拓したい
- 4位 従業員を新規雇用したい

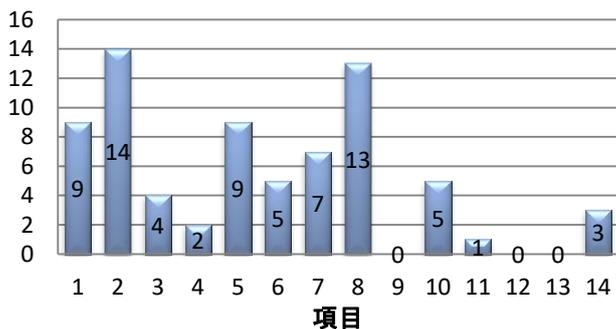
### 小売業



#### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 2位 経営の多角化を行いたい
- 4位 生産性を向上させたい
- 5位 従業員の新規雇用をしたい

### サービス業



#### 順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 従業員を新規雇用したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

#### 項目一覧

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) |                     |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 8.新規市場を開拓したい                | 9.業種転換を行いたい         |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             | 13.海外から原料・部品を調達したい  |

## 8. 国・県への要望

| 業種名   | 事業内容       | 略名 | 国県への要望   |
|-------|------------|----|--|
| 製造業   | 建築資材卸      | 都城 | 景気の先行きに不透明感が漂う中、消費者が安心できる税率10%の引上げに備えた官民の取組みが急務です。   |
| 小売業   | 記念品販売業     | 都城 | 消費増税、軽減税率導入が現実視とはいえ、正式な決定ではないので新しいレジの導入がまだ出来ていない。経費もかかることなので方向性を早く示してほしい。                        |
| 建設業   | 総合電気事業     | 都城 | 働き方改革の一環として、建設業の土日祭日の現場作業禁止等の法令化を望む。建設業の雇用が厳しい。  |
| 建設業   | 建設業        | 都城 | 公共工事の適正な発注。  |
| 製造業   | 製材業        | 都城 | 設備取得、雇用促進の補助金や消費増税対応等、セミナー開催やリーフレット配布等、もっと多く行ってほしい。  |
| 製造業   | オフセット印刷物製造 | 宮崎 | 景気対策をしっかりと末端企業まで行き届くようにお願いします。   |
| サービス業 | 道路貨物運送業他   | 宮崎 | 人材確保、育成補助、高速道路料金の割引、IoT、AIの促進。   |
| 小売業   | 酒類食料品小売業   | 宮崎 | 大手企業向けの働き方改革ではなく、もっと中小零細企業向けの働き方改革を考えてほしい。   |
| 製造業   | 屋外総合広告看板   | 宮崎 | 景気は上向きだと思う。ただ仕事すればするほど税金が…。どうにかならないものか。  |
| 卸売業   | 業務用食料品卸売   | 延岡 | 市場法が改正になってくるがこれに対応していく。協同組合としての経営に限界を感じて総会で審議したが組合員の総意で協同組合としての経営に進んでいくことになり、組合員の一層の協力が必要になってくる。 |

|       |        |    |  |
|-------|--------|----|--|
| 製造業   | 医療機器製造 | 日向 | 今まで以上に新卒(大学・高校)の県内就職率を上げ、県内企業の活性化を図って欲しい。  |
| 建設業   | 建設     | 日向 | 入札制度見直し  |
| 卸売業   | 業務用製品卸 | 日向 | 10月からの消費税増税、働き方改革など国の政策は、中小零細企業いじめにしか思えない。対象を大企業のみにしてほしい   |
| サービス業 | 飲食業    | 日向 | 当社では今のところ適正な人員を確保できているが業界全般において人手不足が深刻となっている。サービス業の職場改善も必要になってくると思われます。  |
| サービス業 | サービス業  | 日向 | 国産材(杉)を原料に事業をやっているが、森林伐採後の再生林が重要であり、このサイクルが保たれるかが、不安。2020年以降住宅着工数は下落すると予想されており、その分需要の低下、再生林の低下の悪循環となる事が恐い。競争力がヨーロッパからの輸入材に負ける事があってはならない。 |
| 建設業   | 電気工事業  | 高鍋 | 公共工事が減少しているため、思うように受注ができない。人手不足で困っている。求人募集中だが、1人も面接に来ない  |
| 小売業   | 食品小売業  | 高鍋 | 設備投資を促進するための補助金設置  |
| 建設業   | 土木建設業  | 日南 | 10月に実施予定の消費税増税に伴う景気対策に期待したい。公共事業費のさらなる増加等。   |
| 卸売業   | 青果卸    | 日南 | 企業誘致、人口増加対策に取り組んでほしい。少しも良くなれない。景気が上向きというのは大企業だけではないですか。消費税率の面倒な対策、不安が募るばかりで、中間の納税も資金繰りに大変。国は何を考えてるのかわかりません。                              |
| 小売業   | LPガス販売 | 日南 | 人口減を少しでも食い止めてもらいたい。地方の景気は悪い。都市部と地方の格差は広がっている。  |
| 製造業   | 金属加工業  | 日南 | 半導体及び弱電業界の急激な落ち込みと選挙が絡み、経済活動の停滞が不安要素としてあります。次の展開が見えにくいので、選挙後の迅速な経済対策を期待したいところです。   |

|       |        |    |   |
|-------|--------|----|---|
| サービス業 | 建築設計   | 日南 | 市内でこれまで頑張ってこられた事業者が従業員不足のところに誘致企業を持って来てどうするのですか。ますます地元の事業者は困ると思いますが。  |
| 小売業   | 小売酒販店  | 日南 | ・物流の変わった現在、継続の道があるのか<br>・地方再生といわれるが、かなりの田舎にも大型店が次々と進出し、地方の事業者は疲弊している現実がある   |
| サービス業 |        | 日南 | 宮崎市の観光事業支援と比較(例、宿の設備投資、上限500万50%補助、インバウンド13000円(3000万)の補助等々)日南市の観光事業支援補助が宮崎市程とは言わないが、何らかの支援を行わないと地域間競争に負け、通過地域としての機能しか評価されず日南市に県外客のお金が落ちず、地盤疲弊していくのではないか。 |
| サービス業 |        | 日南 | 観光業ですので、国内外からお受け入れをしております。<br>道路看板など古く、当社までの交通の便も弱く、総合的に自社の力のみでは解決できない問題がありますので、支援をお願いできればと考えております。   |
| サービス業 | 飲食業    | 日南 | 何の期待もありません。必死に商売していくのみです。   |
| 小売業   | 石油小売   | 小林 | ガソリンの消費税率を廃止するか低減を考えて欲しい  |
| 製造業   | 焼酎製造販売 | 串間 | 消費税…ある程度の仮需があるとは思われますが反動がこわいですね   |